

## ふくしま尾瀬魅力発信強化（情報発信）事業業務委託仕様書(案)

本仕様書は、福島県が行う「ふくしま尾瀬魅力発信強化（情報発信）事業」を委託するに当たり、必要な事項を定めるものとする。

### 1 業務名 ふくしま尾瀬魅力発信強化（情報発信）事業

### 2 業務の目的

尾瀬国立公園（以下、同公園という）は群馬、福島、新潟、栃木の4県にまたがり、本州最大の高層湿原や火山によってできた尾瀬沼、これらを取り囲む燧ヶ岳、会津駒ヶ岳など豊かな自然が織りなす美しい景観や多様な生態系が、訪れた人々を魅了している。

同公園の入山者数は、平成8年の64万8千人をピークに減少しており、令和7年は17万2千人にとどまっている。利用者の減少に伴う担い手不足等により、利用施設等の衰退や山小屋が持つ公益機能の低下が懸念されている。

さらに、同公園の入山口は、群馬県と福島県合わせて9カ所となっているが、首都圏からのアクセスが良い群馬県側からの入山者が全体の7割と集中し、自然環境への負荷が課題となっている。

本業務は、福島県側にある同公園とその玄関口となる檜枝岐村及び南会津町の自然や文化の体験を目的としたネイチャーツーリズムを「ふくしま尾瀬」として、尾瀬の豊かな魅力をイベント等を通して発信し、「ふくしま尾瀬」の知名度向上と、福島県側からの入山者の増加を図る。

### 3 履行期限

契約締結日から令和9年2月26日（金）

### 4 履行の場所

関東圏

### 5 業務内容

- (1) ふくしま尾瀬関東圏プロモーション
- (2) ふくしま尾瀬エリアの情報発信

### 6 業務内容詳細

以下に係わる一切の業務（企画、調査、調整、作成（印刷）、発送を含む）を実施すること。

#### (1) ふくしま尾瀬関東圏プロモーション

関東圏の大型商業施設等において、ふくしま尾瀬の魅力を発信するイベントを2回以上開催する。なお、イベントは関係町村（南会津町・檜枝岐村）と連携して実施すること。

##### 【ターゲット層】

関東圏在住者で、自家用車もしくは東武鉄道の利用によって福島県側からの来訪が見込まれ、下記①②のいずれかに該当する人。

- ① 尾瀬をよく知らない20代～30代のファミリー層（訪れたことがない、1度は訪れたことがある、昔訪れたことがある等）をメインターゲットとし、ふくしま尾瀬が持つ様々な魅力を紹介し、福島県側から尾瀬に入山するきっかけをつくる。
- ② 何度か尾瀬を訪れたことがある方はサブターゲットとし、福島県側を起点としてシーズン中に尾瀬に繰り返し訪れたいという情報をイベントにて発信し、今後のふくしま尾瀬のリピーターに繋げる。

#### ア 実施会場の確保

関東圏の大型商業施設等においてイベント会場や出展スペースを確保すること。

- ※ 福島県側からの入山が見込める地域・会場（群馬県側とアクセスのしやすさにあまり差がない、または福島県側からのほうがアクセスしやすい）を提案すること。
- ※ イベントは各回別会場とすること。
- ※ ふくしま尾瀬の知名度向上に繋がるよう、十分な集客が見込める会場を提案すること。（例：埼玉・栃木県等の大規模ショッピングセンター、大規模駅併設施設）
- ※ 1イベントあたりの出展ブース数は6ブース程度とし、試飲や試食の提供が可能な会場とすること。
- ※ 他団体イベントへの出展についても可とする。
- ※ 開催時期は7月～9月の休日とすること（各2日間を基本とする）。

#### イ イベントの実施・運営等

会場との連絡調整や必要な申請手続き、当日の会場設営及び運営全般を行うこと。また、ステージイベント等、集客に繋がるような内容・工夫を提案すること。

イベント開催中、イベント会場を常時運営できるよう適切な人員数を配置すること。

#### ウ イベント内容

ふくしま尾瀬の情報を効果的に発信するためのプログラム・ブース等

を企画し、運営すること。

なお、ブースは福島県・檜枝岐村・南会津町・尾瀬保護財団で各1ブースを確保し、1イベントあたりの出展ブース数は6ブース程度とすること。

令和4～6年度に実施したふくしま尾瀬フォトコンテスト及び令和7年度のふくしま尾瀬写真投稿キャンペーンの受賞作品を展示すること。ただし、展示に使用する作品及び点数は委託者と協議の上決定することとし、令和4～6年度の作品は既存の写真パネルを活用すること。令和7年度の受賞作品計14点については、使用の有無に関わらず、A3サイズの写真パネルを制作すること。

※ 過去の受賞作品数

令和4年度 写真：25作品

令和5年度 写真：20作品、動画：3作品

令和6年度 写真：20作品

令和7年度 写真：14作品

エ ふくしま尾瀬紹介ツールの作成

イベント会場で来場者に配布する、ふくしま尾瀬の魅力やアクセス情報について分かりやすくまとめた紹介ツールを作成すること。ツールの形式、数については提案とする。

オ 広報

イベント及びふくしま尾瀬への来訪気運を盛り上げるため、以下の広報を行うこと。なお、広報は効果的かつ効率的なPR手法により行うこと。広報ツール（紙媒体の場合は配送含む）の作成は、発注者、受注者協議により行うこと。

- ・デジタル広告の配信
- ・イベントポスターの作成、掲出(イベント会場のみ)
- ・その他効果的なPRがあれば提案すること。

カ アンケート

イベント参加者に対しアンケート調査を行い、イベントの内容について評価を得ること。

キ 旅費等の支払い

関係町村と連携しイベントを実施するにあたり、関係町村職員（出展者）の旅費（交通費、日当、宿泊費）については事業費に含むこととし、支払い（手続き）を行うこと。

なお、関係町村の展示物等イベントに必要な荷物の送料についても事業費に含むこと。

算定にあたっては、所属団体等の旅費規程に準ずるものとし、支払い人数は関係町村、各イベント毎に上限2名までを想定すること。

地元企業がブースの出展を実施する場合も同様に、企業参加者（出展者）の旅費（交通費、日当、宿泊費）を事業費に含むこととし、支払い（手続き）を行うこと。

算定にあたっては、所属団体等の旅費規程に準ずるものとし、支払い人数は企業毎に上限2名までの費用を想定すること。

【参考】県旅費規程による旅費

2泊3日（首都圏）：48,640円（檜枝岐村発着）／1名

2泊3日（首都圏）：46,040円（南会津町舘岩地域発着）／1名

1泊2日（那須塩原）：23,125円（檜枝岐村発着）／1名

1泊2日（那須塩原）：22,275円（南会津町舘岩地域発着）／1名

※上記キについて、総額700,000円の費用を委託費に見込むこと。

（内訳：2泊3日の2町村各4名出展者旅費

＋1泊2日の2町村各4名出展者旅費＋運送費、を想定。）

※人数等については協議とする。

ク 留意事項

（ア） イベントの参加者の安全・衛生管理等を確実に実施することとし、特に以下の対応について必ず講じること。

a 事故等危機発生時の対応

b 天災発生時の対応

c 救護者の対応

d 熱中症対策

e その他対策が必要と思われる事項

（イ） イベントの催行に関しては、土地・施設の所有者、管理者のほか、環境省や関係町村、観光協会等の関係団体等と十分に調整し、連携すること。なお、催行に当たり許認可等の手続きが必要な場合は、申請に係る書類等を作成し、必要な手続きを県と協議の上実施すること。

（ウ） 関係機関等との調整（打ち合わせ）には原則出席（オンラインを含む）し、必要に応じて説明等を行うほか、事前資料の作成を行うこと。

（エ） イベントの開催が困難と判断される状況が生じた場合には、その開催内容等について、発注者、受注者の協議により決定すること。

（オ） イベントにおいて参加者への給付（軽微なものを除く）が発生する場合については、原則参加者の実費負担とすること。

## (2) ふくしま尾瀬エリアの情報発信

ア 既存の Web サイト「ふくしま尾瀬」(以下、既存サイトという)について、尾瀬国立公園内や檜枝岐村、南会津町で開催されるイベントや自然情報を発信するために新着情報を更新すること。また、必要に応じて軽微な修正を行うこと。新着情報掲載内容及び時期については、発注者と協議の上決定し、月 1 本程度の更新を目安とする

【ふくしま尾瀬 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/oze/>】

イ 本事業で実施するイベントの情報について、既存サイトのイベントページの更新を行うこと。なお、更新は当該イベント開催 1 ヶ月前までに行うこと。

ウ ふくしま尾瀬の魅力を発信するコラムを 1 本作成し、既存サイトに掲載すること。なお、内容及び時期については提案とし、発注者と協議の上決定すること。

エ Web サイトのデザインは既存サイトに従うものとする。なお、委託期間内において、既存サイトに改修の必要性が生じた場合は既存サイトの改修を行うものとする。

オ 既存サイト内には交付金事業である旨以下の標示をすること。

「令和 8 年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業」

カ ふくしま尾瀬 SNS (X、Instagram、Facebook) において、月に 1 回程度イベント情報やふくしま尾瀬エリア情報を発信すること。

※SNS は既存アカウントを使用する。

キ その他、効果的かつ効率的なふくしま尾瀬 P R を提案すること。

## (3) 成果品

事業終了後、以下の成果物等を提出すること。

ア 実績報告書 (紙媒体 1 部及び電子データ)

イ 委託業務に係る全ての成果物の電子データ (PDF 及びアドビイラストレーター形式)

ウ イベント等事業実施状況写真 (電子データ)

## (4) 提出書類

受託者は、委託契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

ア 契約締結後に速やかに提出するもの

(ア) 委託業務着手届 (様式第 1)

(イ) 統括責任者通知書 (任意様式)

- (ウ) 業務計画書及び実施工程表（任意様式）
  - (エ) 収支計画書（任意様式）
  - (オ) その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類
- イ 業務完了後に速やかに提出するもの
- (ア) 委託業務完了届（様式第2）
  - (イ) 収支報告書（任意様式）
  - (ウ) その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類

(5) 総括責任者

受託者は、本業務に当たって十分な経験を有する者を総括責任者として定めなければならない。

(6) 事業実施にあたっての打合せ

受託者は、本業務の期間において、委託者との間で随時打合せを行った上で業務を実施するものとし、その打合せ記録を作成するものとする（様式任意）。

また、福島県は本業務の実施のために必要な協力をする。

(7) その他留意事項

ア 成果品の著作権等の取り扱い

(ア) 本業務における成果物の所有権や著作権は、原則としてすべて福島県に帰属し、委託者は事前の連絡なく加工及び2次利用できるものとする。また、受注者は本成果品等について、発注者及び発注者が指定する第三者に対して著作権者人格権を行使しない。ただし、受託者が従来から権利を有していた受託者固有の知識、技術に関する権利等（以下「権利留保物」という。）については、受託者に留保するものとし、この場合、福島県は権利留保物についての当該権利を非独占的に使用できることとする。

(イ) 本業務の実施による成果品は、著作権・肖像権上の処理を済ませた上で納入すること。

イ 個人情報の取り扱い

本業務で個人情報及び特定個人情報を扱う場合は、流失・損失が生じないように、その保護について十分な注意を払うこと。

ウ 秘密の保持

本業務で取得した情報については、秘密を保持するとともに、契約目的以外には絶対に利用しないこと。

エ その他

- (ア) 業務の実施に当たっては、業務の内容及び範囲について、福島県と綿密な打ち合わせを行い、その決定に従うこと。
- (イ) 受託者は、受託業務に関する事項について、福島県から報告を求められた場合には速やかに応じること。また、改善が必要な事項については、直ちにこれに応じ、その結果を報告すること。
- (ウ) 本仕様書に明示無き事項又は業務に疑義が生じた場合は、福島県及び受託者双方の協議により業務を進めるものとする。
- (エ) 但し、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。

様式第 1（仕様書 6（4）ア関係）

委託業務着手届

令和 年 月 日

福島県知事様

受託者 住所  
名称  
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日付で着手しましたので届け出ます。

記

1 業務名 業務

2 委託料の額 金 円

(うち消費税及び地方消費税の額 円)

3 委託期間 着手 令和 年 月 日

履行期限 令和 年 月 日



様式第 2（仕様書 6（4）イ関係）

委託業務完了届

令和 年 月 日

福 島 県 知 事 様

受託者 住所  
名称  
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日完了しましたので、  
届け出ます。

記

1 業 務 名 業務

2 委託料の額 金 円

(うち消費税及び地方消費税の額 円)

3 委託期間 着 手 令和 年 月 日

完 了 令和 年 月 日